

議案番号	議案名	概要	反対議員
議案第109号	<p>《反対討論 市民の声を大切にする会》現在の開かれた日本経済から考えると、年商26億円もの競艇用モーターやボート、その他の競艇関連の監視艇や修理部品などの事業を、ヤマト発動機1者で独占しているのは、もってのほかである。日本には、他にも船外機メーカーがあり、資本・売り上げともヤマト発動機を上回っているメーカーが多数ある。そのうち何者かが参入すれば、モーターやボートの費用も何割か安くなるはずであるのに、そうになっていないのは、どこか目に見えないところで、特殊な団体により、特別な圧力がかかっていることが十分考えられる。ヤマト発動機の事業形態そのものに問題があるため反対する。</p>		
	<p>《反対討論 至誠会》そもそも競艇事業は、国が「こういう金もうけに乗らないか」と、特定の一族に持ち掛けたことから始まっており、その団体は年間500億円もの収入を得ている。行政はその団体と、モーターやボートについて、少しでも安くなるように話をしに行かなければならない。もともと競艇事業は、戦後の復興のために認められたばくちのようなものであったが、戦後70年経って、後世の教育のために方向転換する時期に来ていると感じる。「悪いことは悪い」という考え方でやっていくのが誠意であり、正論であることから反対する。</p>		
議案第110号	財産の購入について	競艇事業における競走用ボート65隻の購入 3602万6640円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武
	《 反対討論 日本共産党津市議団 》議案第109号と同じ理由で反対する。		
	《 反対討論 市民の声を大切にす る会》議案第109号と同じ理由で反対する。		
	《 反対討論 至誠会 》議案第109号と同じ理由で反対する。		
議案第111号	平成28年度津市一般会計補正予算(第2号)	保育所施設整備事業、農業用施設維持管理事業、みえ森と緑の県民税市町交付金事業等の増による 1億2179万円 の増額補正等	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》認定こども園整備事業は、公立幼稚園の統廃合を進めるものである。中でも津こども園は、5園を統合するという規模の大きさで、定員も225人と多く、一人の園長で指導できる範囲を大幅に超えている。大規模災害が予想される中で、子どもの集中はリスクが大きすぎる上、保育の必要性や保育時間、長期休暇、学級閉鎖など、幼稚園保育園のそれぞれ条件の違う園児を同じ場所で預かることは、特別な困難を伴う。制度上は一元化と言いながら、保育現場は多岐にわたる制度が混在している。待機児童対策には、認可保育園を増やすことが大事であるのに、その立場に立っていないことから反対する。</p>		
	<p>《反対討論 市民の声を大切にする会》地方債の起債の利率について、今年1月に、日本ではゼロ金利政策が打ち出されたが、利率が3.0%以内という高い金利となっている。今の景気では、どう見ても公定歩合が上がるとは考えられず、起債の利率3.0%以内という数字は好ましくない。また、予算を流用して行った5月連休の伊勢奥津駅からの無料周遊バスは、市長のナイスアイデアであり、好評であった。予算の流用については、有効に使えるのであれば、大いに結構であるが、流用した後の予算の「流用戻し」の考え方に、当局と温度差があるため反対する。</p>		
議案第112号	平成28年度津市一般会計補正予算(第3号)	商工業振興事業、農業振興支援事業等、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)」を活用して実施した事業の実績確定に伴う返還金 4967万9000円	長谷川正
	<p>《反対討論 市民の声を大切にする会》地方創生先行型の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の活用について、結果的に全体の3分の1の金額を国へ返還しなくてはならなくなった。返還額が多くなったのは、事業名や事業内容の申請の仕方に、各部署とも勉強不足の点があったからだと思われる。市職員が給料以上に知恵を絞って、有効に使われるような事業内容を考えていれば、このような返還額にはならなかったように思う。事業名や事業内容の交付申請の仕方が甘かったと思われるため反対する。</p>		